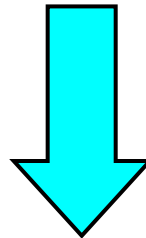


ドライブレコーダーに関する検討全体の流れ

H18年度

追突事故を防止するための予防安全装置^(※)の搭載／非搭載の違いの比較による装置の効果評価のためのドライブレコーダーの仕様の決定

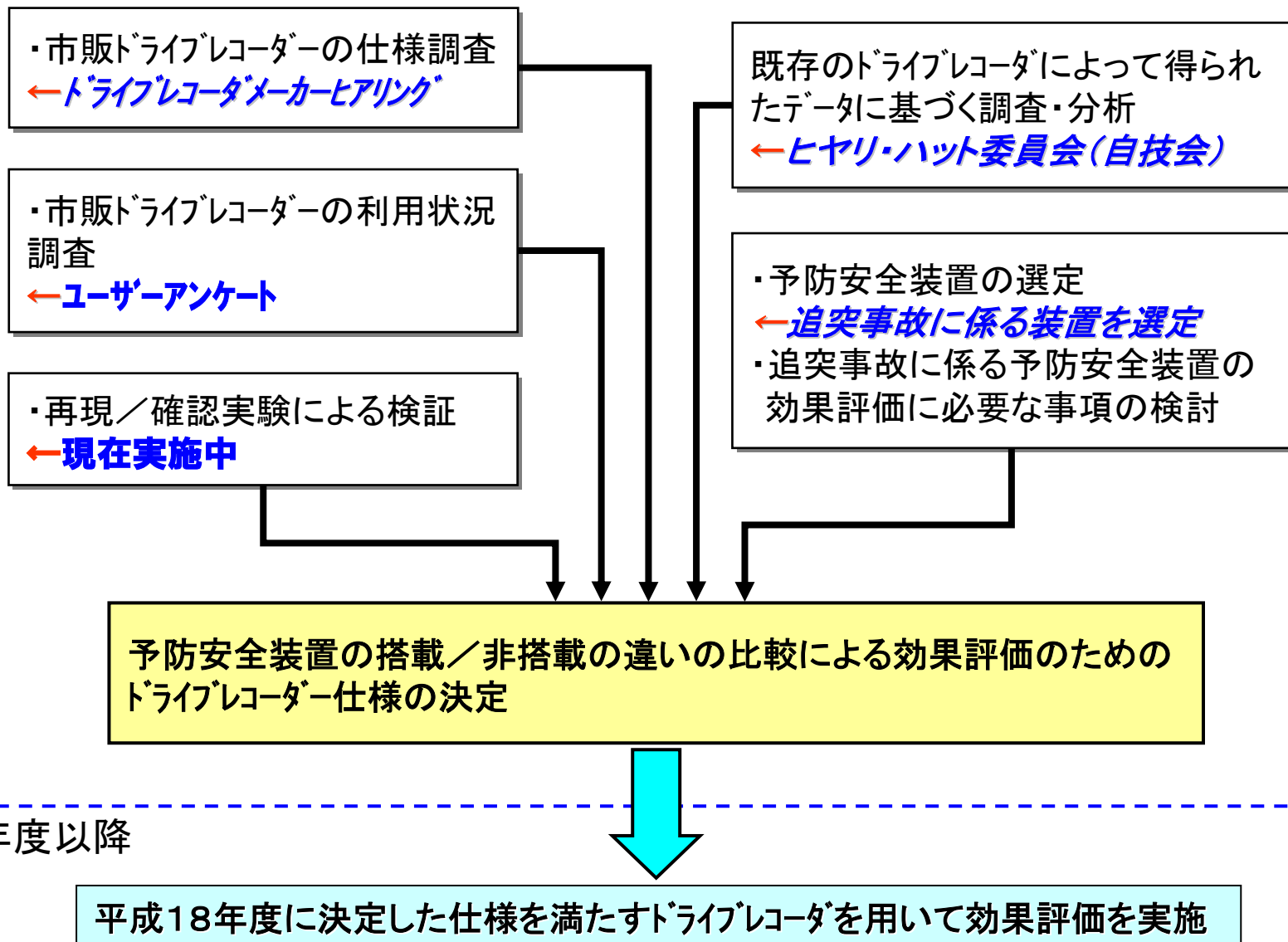
(※)被害軽減ブレーキ、ブレーキアシスト、ハイマウントストップランプ等



H19年度～

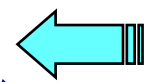
ドライブレコーダーを活用した予防安全装置の効果評価体制の確立に向けた検討

H18年度の実施内容



No.3 追突事故に係る予防安全装置の効果評価用ドライブレコーダーの仕様

→効果評価が行えるための必須要件を整理し、装置の効果評価を行うための仕様案を作成

- 
- ・データ収集／解析のし易さ
 - ・調査対象の確保
 - ・耐久性

予防安全装置の**搭載**車両用の仕様

■「走行データ等」の項目

- ・時刻
- ・前方映像
- ・加速度

- ブレーキ操作信号
- 車室内の音声

■「走行データ等」の条件

- ・時刻のサンプリングレート
- ・前方映像のフレームレート、車間距離精度、
○先行車ブレーキランプ／信号現示等の判別
- 加速度のサンプリングレート、分解能
- 速度のサンプリングレート、分解能(※1)
- ブレーキ操作信号のサンプリングレート(※1)
- 車室内の音声

■「出力データ」の条件

- ・利用者ソフトウェア
- 共通出力端子(※2)

■「構造等」の条件

- ・耐久性

予防安全装置の**非搭載**車両用の仕様

■「走行データ等」の項目

- ・時刻
- ・前方映像
- ・加速度

共通

■「走行データ等」の条件

- ・時刻のサンプリングレート
- ・前方映像のフレームレート、車間距離精度
- ・加速度のサンプリングレート、分解能

共通

共通

■「出力データ」の条件

- ・利用者ソフトウェア

共通

■「構造等」の条件

- ・耐久性

共通

○: 予防安全装置の作動を確認するための項目

※1: 車両側に依存するデータ項目

※2: 市販品では未対応の項目

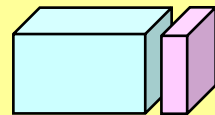
追突事故に係る予防安全装置の効果評価の方法(案)

DRの製作・入手

予防安全装置搭載車両用
ドライブレコーダー

予防安全装置
の搭載車両
用のドラレコ仕様
≒市販品+ α

製作

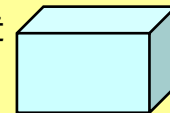


≒市販品 + α

予防安全装置**非**搭載車両用
ドライブレコーダー

予防安全装置
の非搭載車両
用のドラレコ仕様
≒市販品

流用 / 改造



≒市販品

DRの使用方法・ データ収集方法 (案)

・被害軽減ブレーキ搭載車両
・ブレーキアシスト搭載車両等によるデータ
収集
→JARI、国土交通省

○タクシー、バス/トラックによるデータ収集
→既存データの活用、自技会のヒヤリハットデータ等
○自家用車両への搭載によるデータ収集
→JARI、国土交通省

DRによる分析・ 効果評価

data

サンプル数:小

実際の搭載車のデータを用いて、
非搭載車のデータからの推定が
正しいかどうかの検証



data

サンプル数:大

予防安全装置非搭載車の
データから、搭載した場合の
効果を推定

例:「タラ・レバ」シミュレーション